

夕張大教会ホームページ活用 大教会長メッセージyoutube配信



ひきよせ

天理教夕張大教会
北海道岩見沢市9条西6丁目
〒068-0029 ☎0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
HP bariten.main.jp
yubaridai146@gmail.com

現在のHPのトップページから大教会長メッセージの動画を見ることが出来ます。(大教会長さんのYouTubeデビューとなりました)

「天理教夕張大教会」とネット検索しても見ることが出来ません。詳しい手順説明は3ページに掲載しておりますが、スマートフォンを使っての若者から説明を聞くのが手取り早い方法だと思えます。ぜひ活用下さい。

夕張大教会 ホームページQRコード

<http://bariten.main.jp/>

夕張大教会ホームページ (HP) 閲覧方法について

夕張大教会のHP開始して2年。見る内容も充実してきたと思えますので、ぜひスマホやパソコンでご覧ください。

こちらの「夕張大教会ホームページQRコード」をスマートフォン

世界中が大きな困難に直面しております。いづれは必ず流行は終わる。その日の為に現在辛いところも我慢しなきゃならないという事で取り組んでおります。よく睡眠をとり、そして軽い運動、笑顔と感謝。免疫を弱らせないで頑張ろうというところがあります。

現在の状況についてもうちよと申し上げますと、教会は毎日おつとめをして、このコロナウイルス流行の収束を願ってお願いとめをしております。教会からおぢば方向へ参拝をし

大教会長メッセージ

「おはようございます。今日は5月9日です。

今朝の北海道新聞によりますと、北海道の感染者が久しぶりに一桁6人になりました。ほつとしております。全国でも89人で100人を切ったということは本当に喜ばしいけれども、まだまだ全然気を緩めるわけにはいきません。皆様本当にこの大変な中、ご苦労なさっていると申し上げます。

貴方への手紙 (314)

今月の貴方への手紙は夕張大教会ホームページにアップした大教会長メッセージ動画より文章をまとめお伝えさせて頂きました。

参りますと、とても喜ばれた。昨日は市立病院に私が、千葉さんの作った防護服を持って行きましたら、喜ばれました。現状市立病院では防護服は足りているけれども、これは日本中で足りてないんだ。ということでも有り難いと喜んでくれました。それからもう一つ、診察するとき顔部分を守る、フェイスシールドというものを、大教会から市立病院に贈呈することも約束いたしました。それらも大変喜ばれました。我々のできることは少ないですけれども、

できますが、その方角にちようど市立病院があります。岩見沢市立病院は感染した方も受け入れていて、大変ご苦労なさっております。私も3年前から、『今できることがある！』何かできることがあるに違いないということが進んで参りましたが、現在できることはなかなか見つかりません。家にじっとしていることができないことだということまで、言われている時代であります。病院のことが本当に気になります。その中で、札幌の長沼分教会・千葉津恵子さんが、何とか出来ることをしなきゃならないということで、100円ショップのテンプルクロスを型紙に合わせて切り、防護服のサンプルを作って病院に持って参りますと、とても喜ばれた。

励まし合って助け合って、なかなか人と会ったりは出来ませんが、電話や手紙、メールしたり、色んなことで励まし合って心の交流ということは、是非やっていきたいと思えます。

夕張大教会では現在、会議ができません。会議ができない状況を何とかしようということで、今「L2B(ライン・携帯アプリ)」という方法があります。その「L2B」で役員さんや直轄教会長の毎月1日の会議をやりたいというところで皆さんに呼びかけたら、今のところ各会も含めて、20名ほどが登録されましたので、情報を早く伝えることができます。また共に直接言葉を交わすことができます。現在はそんな取り組みをしています。

今のところ、月次祭はおつとめ奉仕者だけでつとめ、信者様方には「遠慮いただき、誠に申し訳ないですけれども、しばらくそれで頑張ります。皆様方の幸せを祈ってまいります。今後に向けて、いつかこの緊急事態の収束が訪れると思えます。そうなりましたら、また皆様に喜んで勇んで、笑顔でお会いしたいなと思っております。

この事態をどういうふうにかえようか、これはなかなか一言で言えませんが、この自粛とい

うことが今続いておりますが、その間大変経済も困っているし、それぞれのご家庭でも色々自由をきたしておるわけですが、そのために結果として工場が止まった事等色々あります。とても青空が綺麗になつていて、それから色々ところで環境汚染の問題がかなり改善されているということも考えますと、人間がやりたい放題で、自然を汚していくというような事について、これはいけないよ、というお知らせかなと思えます。そして、お互い離れていても、励まし合ったり助け合つていかなきゃなりません。ですから神様はこんな中でも喜ぶ、こんな中でも自分のことだけじゃなくても人のことを願う、祈るといふことを強くお望みになつておられると思えます。陽気づくめという言葉があります。嬉しい時は嬉しい、悲しい時は悲しい、これでいいんですけれども、できるだけ陽気な心で毎日過ごす、今のこの新型肺炎の流行によつて、本当に喜ばないところをどうやって喜べるか。陽気づくめの心にどうやってなるか、ということをおもうんですね。

間にも、助け合つて陽気に暮らさない、助け合つて陽気に暮らせよ、笑顔で毎日暮らせよ、というのを望んでおられる。陽気ぐらしができるように人間世界をお創りになつた。これが信仰の根本です。そして我々信仰者の毎日は、人様のことを願う祈る、自分のことはその次、これが信仰者の態度であります。

これはお医者さん方がいう話ですけど、自分のことばかり考へると神経過敏になる、心が弱る。人さんのことを考へて人のことを祈るときに、生命力が増してくると。これはもう証明されているそうです。ですから我々は、助かりを願う、このコロナウイルスの収束を願うところに、安らげて不安を取り除かれるというふうにおもうんです。今こそ我々信仰は、『人を助け

教を簡単に一言で言つてみますと、親神様は我々の親ですから、子ども達である私たち人

四月月次祭の様

四月に入り、少しずつ春めいた気候になつた北海道だったが、新型コロナウイルスの影響は依然大きなものであつた。全国に向け発表された緊急事態宣言を受け、四月の大教会祭典も来れ

る人だけで勤める事となつた。開扉献饌のち祭文奏上。続いて座りづとめ・十二下りのおどりが務められた。前月以上に換気や人と人の距離に気を付け、上段に上がるおつとめ奉仕者も、みなマスクを着用しておつとめであつた。

大教会長は講話で「今月は御誕生祭の月です。ご参拝頂きありがとうございます。ご参拝頂きありがとうございます。三月の本部祭典では、広い参拝場に直属教会長がパラパラと分かれて参拝しておりました。自分の間は仕方ない事だと思ひますが、しかし我々は、治まるその時を信じて、負けない心で通つて参りたいと思ひます。

今、我々が気を付ける事、よく言われているのが『三密』です。密閉・密集・密接を避ける事。あとは心の使い方ですね。笑顔や感謝の心は、免疫力を高めます。免疫力を高めるのは睡眠・運動・笑顔・感謝です。

今一番大変なのは医療従事者ですね。大変な中ですが、この人たちの免疫力が落ちてしまふと、感染してしまいます。感謝の心、お礼の気持ちを伝えるのが一番いいと思ひます。言われた方は喜ぶ、言つた方も嬉しい。

お互い免疫力が高まるという事です。反対に、今様々な所でクレームが飛び交つています。我慢辛抱の毎日で、ストレスが溜まつての事と思ひますが、言われた方、言つた方、双方の免疫力が落ちてしまふ。これではよくありません。我々信仰者お互いは、やはり感謝の心、お礼の気持ちを周りに伝える事で、多くの人と免疫力を高めるようにしていきたいですね。

世界ではこのウイルスに対抗する薬やワクチンの研究が、急ピッチで進められています。臨床試験や実際の医療現場で効力を発揮するのでは、という薬の報告も各地から上がつています。しかしやはり、最終的な終息という事はワクチンの完成と普及という事になるでしょうか。それまでの間に私達が出る事は、心作りですね。

今一番の問題は、自粛生活が続く事によつて精神的に参つてきてしまふ、という事です。緊急事態宣言の前後で月単位で自粛ムードが続いていますが、専門家によると我慢に耐えうるのは3か月程度だそうです。パニックにならない為にはどうしたらいいのか。これは「人のため」と思つてする他者貢献の気持ちを持つ事だそうです。助け

助け

合いや人の事を祈るといふ行為で、幸せホルモンと言われるオキシトシンというものが分泌され、不安な気持ちを落ち着かせてくれるそうです。

そう考えると、やはり我々にはおつとめですよ。おつとめで人の為に祈る。おつとめとおたすけによって、利己的な心を忘れ、心の平穏を保っていく。出来る事は少ないですが、毎日おつとめをさせてもらって、たすけ心で通らせてもらいましょ」と話された。

祭典後はみな大教会に留まらず、弁当とお下がりを受け取って、早々に帰路についた。

ひのきしんデーと 国道みまもりたい

4月29日今年のひのきしんデーは各会場に集合しての実施は中止となったため、各人、各家庭で近隣のひのきしんをされたことと思います。当日は小雨模様でした。

翌日、国道みまもりたい岩見沢の活動日。良い天気、暖かい日差しの中、実働しました。

奉仕に生きる人、池田智氏の熱意によって始めた活動です。4年前、初対面の池田さんに熱心に口説かれ責任者になりました。国道沿いだから美化に協力



ゴミを大切なものを扱うように車に積み込む池田さん

すべきと思つて。今日は家族と内輪の人だけです。市内あちこちに散らばりました。(みまもりたい 会長)

夕張大教会 ホームページ閲覧手順

現在の夕張大教会のHPは2018年9月からスタートし、毎月の大教会報「ひきよせ」がパソコン・スマホを使ってどこでも読めるように(写真はカラーに)更新、アップロードしております。少し前までのひきよせ各号が読めます。他に、少年会のページに夕張団の活動、お知らせ動画や、おとまり会に活用できる紙芝居教材の紹介、少年会本部からのお知らせ等も掲載しています。

方法1

「パソコン」「スマートホン」からグーグル、サファリなどのインターネットブラウザを開き「天理教夕張大教会」と検索「天理教夕張大教会 Yubari Grand Church」というウェブサイトで検索結果に出てきます

方法2

「スマートホン」のQRコード
QRコードを使う

今号1ページの「QRコード」を読み込みます。 아이폰なら通常カメラで、スマホならホームボタン長押しして選択、スキャン出来ます。「LINE」に登録してる方は「LINEのQRコード」スキャンも使えます。

方法3

直接アドレス欄に

「bariten.main.jp」と打ち込む

打ち込んで決定すると夕張大教会のHPがすぐ開きます。

音声アシスタント機能を有効にしているスマホは「OKグーグル(もしくはは(エイシリ)、天理教夕張大教会」声で入力してもヒットしますよ。

今後も行事のお知らせだけでなく、にをいがけ、おたすけに勉強になること、昔のひきよせのファイル化や、少年会活動で役立つ情報なども掲載できたらと思っています。ひきよせの紙面にもHP更新情報など載せますので、どうぞご覧頂き、活用下さい。



別席のお話の中に「をしい」ほりとは、心の働き、身の働きを惜しみとあります。

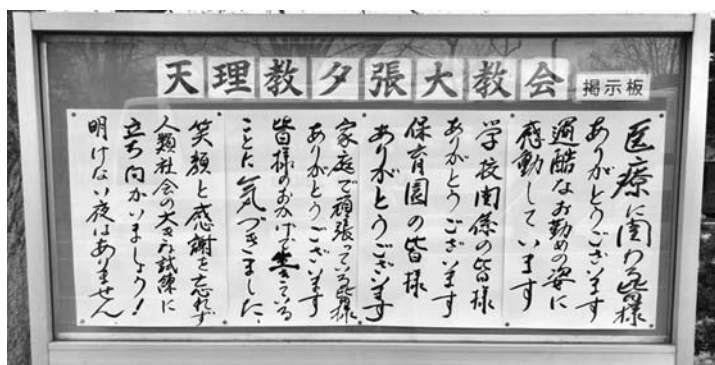
私の住む地区のMさんは、地域の交通部長を永年務め、自分の車にスピードカーを付けて交通安全のアナウンスを流しながら運転し、地域の人達の信頼も厚い。私が何故一生懸命務めるのか聞くと「人間は親が力を入れてたつて、家庭ばかりでは育たな

い。町内の人達や地域の人に見守られながら、一人前になっていく。だから、子どもが成長した今、その地域にいくらかでも恩返しをしたいと思つて、交通安全の声掛けなら出来ると思ひボランティアを始めたいです」と話された。私はその思いを尊く思い、次の月から交通指導員としてお手伝い始め、気が付くと今年で8年にもなつた。「人の為に、身分相応の務め」が少なくて、身の働きを惜しんでいないかな、と思う昨今である。

地域の事で言うとな、この頃町内会費を払わない若夫婦の家庭が多いと聞き、Mさんの爪の垢を煎じて飲ませたいと思つた。それも「子育てで家計も大変なので」と会費を免じて欲しい旨を話した。そこで、町内会長だった私は「町内の街灯も、ゴミの処理、雑草の事、綺麗な花壇も、全て町内に生きる人、老人から子供にも大切な事ですから。子ども達の将来にも関わる事なので、出し惜しまないで下さい」とお願いして、会費を納めて頂いた。毎年夏に隣の小学校で花火大会があり、町内会として相応の寄付をしている。うちの町内が特等席であるのを町内の誰もがあつていて、喜んでいる。(実)

外出密集自粛中 医療現場へ支援も

緊急事態宣言の中、それぞれの家庭では、アルバイトもなくなった、学校も休み、買い物も少人数、行楽はなし、などなど自粛の中、苦勞なさっていることとお察し致します。そんな中、支援や、過ごし方、家の中での楽しみ方などをポジティブにSNS（インスタグラム、フェイスブック、ツイッターなど）を使って、発信している芸能人、スポーツ選手がたくさんおられます。皆さんの近くにも活動されている



方が居るのではないのでしょうか。そこで、ひきよせ編集部がキャッチしたお話、支援の動きなどを紹介いたします。

- ・ 休校中の子供が鳴物（太鼓）を練習し覚えた。十二下り全部つとめてくれた。
- ・ 家の中の物品処分、庭、畑の手入れ、日曜大工など。ホームセンターでは品薄の木材も。
- ・ 昼食は自宅でプチアウトドア
- ・ 90代のおばあちゃんは手作りマスクを作り、近くの人に配っています。最近、社会福祉協議会へ20枚を寄付。渾身の作品です。



・ 医療現場で不足しているフェイスマスクを手作りし大阪の病院へ寄贈した統北分教会が天理時報に掲載された。

長沼分教会では、現場で使われている医療用ガウンから採寸し、型紙を作り、100円ショップで販売しているポリエチレン製テーブルクロスを生地に縫製、医療現場に交付し使用できると確認を頂いた。SNSなども使い協力を募ると、他教会、本州からも問い合わせがあり、5月9日現在、材料寄付423枚、縫製ス



タツフとして16人が賛同、すでに197着を各地病院へ寄贈できたとのこと。現場から喜びの声も届いています。

また他方でも、この型紙を利用し、医療用ガウンの手作りの輪が広がっているそうです。

・ 大教会では密集を避けるため会議を中止していますが、この度LINEのグループトークを活用し連絡会をしようと、責任役員、各部各会など20数名のLINEグループを作り、今後の連絡に役に立つ土台が出来た。

庶務部 4月

- ▽をびや 1件
- ▽5月お運び予定
- 栗山分教会 会長長任命願
- 富山知一さんが5月10日から任命講習を受講中

大教会日誌抄 4月

- (たすけ推進会議は中止)
- 2日 国道みまもりたい活動 新整理ひのきしん 10日
- 8日 国道側歩道下部分、昔の給水管の漏水工事 9日
- ひきよせ編集



- 10日 会長、北網分巡教
- 14日 祭典準備、月例会議(連絡会)
- 15日 月次祭
- 16日 (全国緊急事態宣言発令)
- 17日 会長、おちばへ
- 18日 教祖御誕生祭
- 子どもおちばがえり中止発表

19日 会長、帰会
新整理ひのきしん 25日

●青年会では4月の前半に竹田元副委員長、後半に藤崎勇・次期委員長が住込青年・藤田亮平と共に各一週間程大教会に泊まり込み、薪切ひのきしんに汗を流した。おかげで薪小屋と資材庫の間にあった木材の山はすっかり綺麗に。活動までの経緯は、先月号に掲載。



20日 LINE会議テスト

22日 責任役員LINE会議

26日 本部月次祭選擇

29日 全教一斉ひのきしんデー (各家庭単位で近隣実施)

30日 国道みまもりたい活動

編集後記

今号で猛ブッシュしております。「夕張大教会ホームページ」では、ひきよせ掲載の写真がカラーで見られます。ぜひ御覧ください。